

**注意** この表示は誤ると「傷を負うか、又は物的障害の可能性が想定される」内容です。



※本製品は一般住宅屋内専用です。  
玄関や浴室、屋外では使用しないでください。  
※シリンダー錠は簡易シリンダーですので、  
防犯を必要とする用途には使用しないでください。  
※電動ドライバーは使用しないでください。  
各取付ネジは製品の変形・破損、扉の変形に注意し、  
作動不良が無いようにしっかり締付けてください。



株式会社 **川口技研**

営業本部/〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41  
TEL 048(255)5411 FAX 048(255)8228  
ホームページ http://www.kawaguchigiken.co.jp/

施工前にこの取付説明書をよくお読みいただき、  
安全に正しく施工されますようお願い致します。

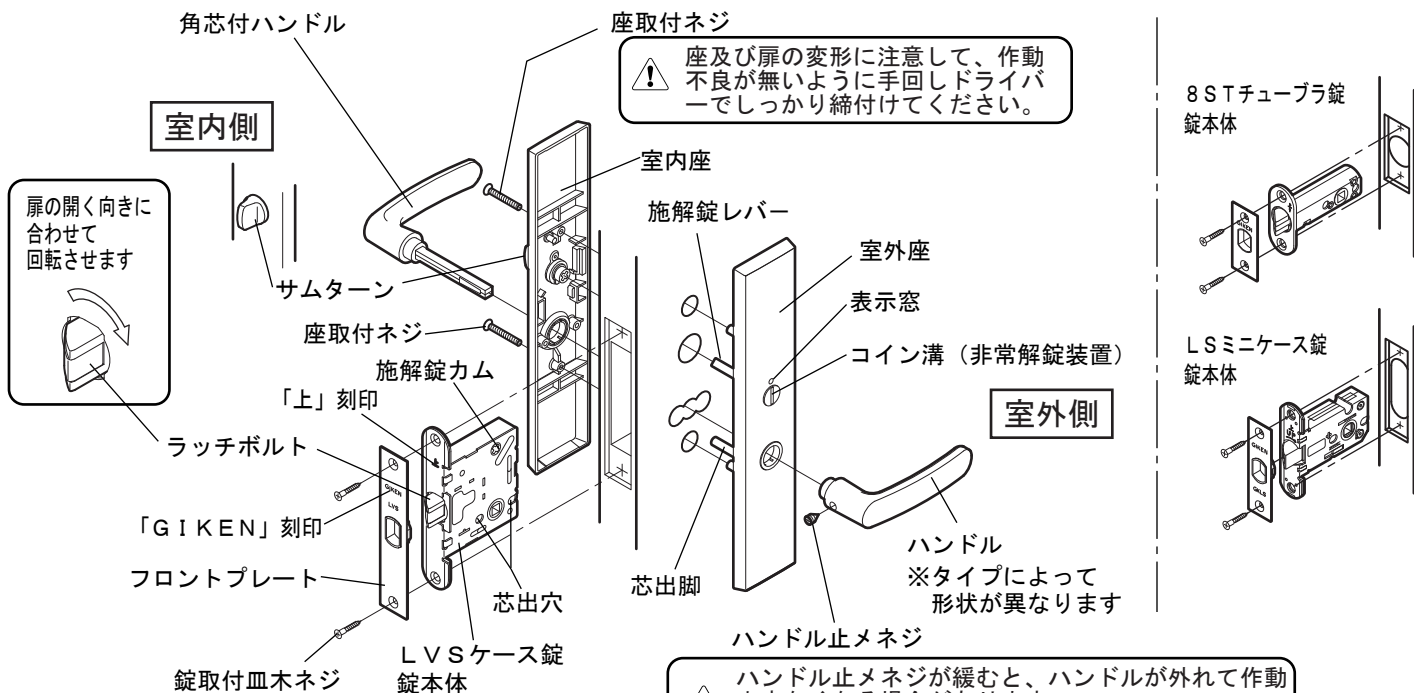
**長座（廃番製品）から交換の場合の取外し参考例**

1. ハンドル止メネジを緩めて、ハンドルを外します。
2. 室内座に座取付ネジが見える場合は、座取付ネジを外して室内座を外します。  
室内座に座取付ネジが見えない場合は、室内座・カバーの切欠きにマイナスドライバーを差込んで外すか、  
室内座下側の室内座止ネジを外してから室内座を外して、座取付ネジを外し座を外します。
3. 錠取付皿木ネジを外し、錠本体を引き抜きます。（錠本体も必ず交換してください。）

取外方法				
	G型長座	F型長座	HS・HL型長座	HS型長座（ネジ止め）
川口技研 製品名称				

**HT26型長座レバーハンドル錠 各部名称**

- ハンドルの取付けは、角芯付ハンドルを室内側に取付ける様をお願いします。  
（万が一ハンドルが抜けてしまった場合に角芯付ハンドルを室内側にしておけば、ドアを開ける事が出来ます。）
- ハンドルデザインによっては角芯付ハンドルが室内側に取付け出来ない場合があります。  
その場合は、ハンドルデザインの向きに合わせてハンドルを取付けてください。



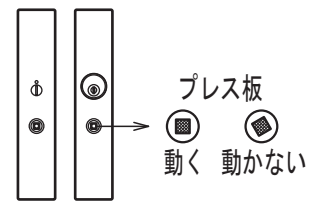
図はLVS-4HT26（表示錠）を表しています。

**注意** ハンドル止メネジが緩むと、ハンドルが外れて作動出来なくなる場合があります。  
手回しドライバーでしっかり締付けてください。

**空錠・内締錠・表示錠の取付方法**

1. 錠本体の取付方法
  - 1-1. 裏面の取付型紙を利用して、扉に彫込みをしてください。  
交換の場合、現状の穴加工と取付型紙を比較して、足りない彫込みを追加してください。
  - 1-2. LVSケース錠仕様の場合は、ラッチボルトを指で押込んでみて、ラッチボルトが押込める状態であることを確認します。  
ラッチボルトが押込めない場合には、施解錠カムをドライバー等で回してラッチボルトを押込める状態にしてください。
  - 1-3. 錠本体を「上」刻印の向きを合わせて扉に挿入し、扉の開く向きに合わせてラッチボルトを回転させます。「GIKEN」刻印の向きを合わせてフロントプレートを取付け、錠取付皿木ネジで固定してください。
2. 座の取付方法
  - 2-1. 空錠は、室外座の芯出脚を錠本体の芯出穴に差込み、室内座と座取付ネジで締付けてください。
  - 2-2. 内締錠・表示錠は、室外座のコイン溝を縦にして芯出脚を錠本体の芯出穴に差込み、室内座のサムターンも縦にして座取付ネジで仮止めします。  
サムターンがスムーズに動くことを確認しながら座取付ネジを締付けてください。（右図参照）
3. ハンドルの取付方法  
ハンドルは角芯付ハンドルを室内側に取付け、ハンドル止メネジでしっかり取付けてください。ハンドルデザインによっては角芯付ハンドルが室内側に取付け出来ない場合があります。その場合は、ハンドルデザインの向きに合わせてハンドルを取付けてください。
4. 調整ストライクの取付方法  
裏面を参考にして、調整ストライクをラッチボルトの位置に合わせて取付けてください。

サムターン、キーの動きを試す場合  
（LSミニケース錠・8STチューブラ錠仕様の場合）



室外座のプレス板をハンドル取付時と同じ水平状態にしてから行ってください。  
角穴が斜めの状態ではサムターン及びキーは回りません。

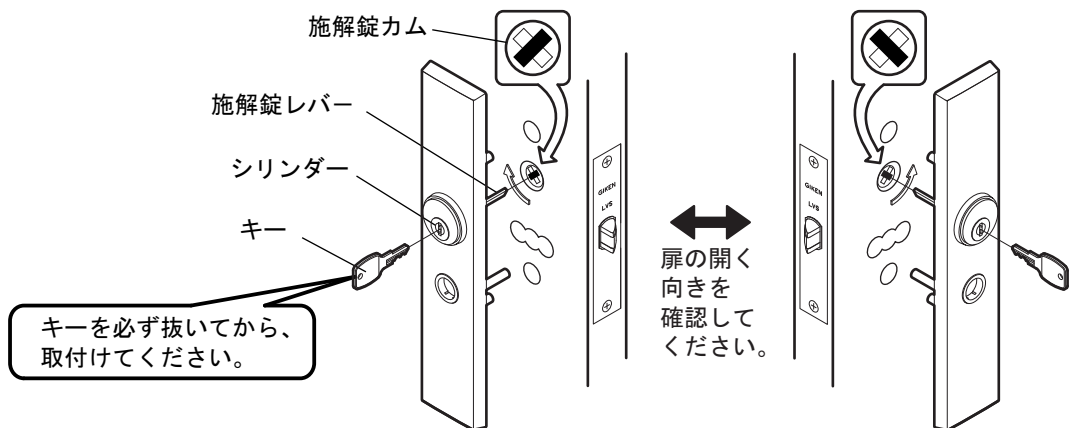
**シリンダー錠の取付方法**

「1. 錠本体の取付方法」と「3. ハンドルの取付方法」、「4. 調整ストライクの取付方法」は空錠・内締錠・表示錠と共通です。

**LVSケース錠仕様の場合**

**注意** 施解錠レバーの挿入する向きを逆にすると、正常動作できなくなりますので、ご注意ください。

十字穴へ差込む向きにご確認ください。



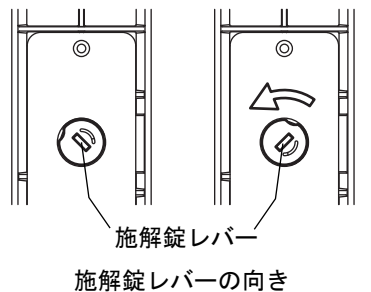
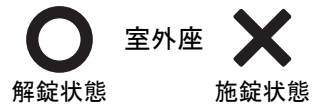
キーを必ず抜いてから、  
取付けてください。

扉の開く向きを  
確認して  
ください。

2. 座の取付方法
  - 2-1. キーが差込まれている場合は、縦向きにしてシリンダーからキーを抜いてください。  
キーを抜かないで取付けると正しく施解錠出来ない場合がありますので、キーは必ず抜いて取付作業を行ってください。
  - 2-2. 扉の開く向きに合わせて、施解錠レバーを矢印の方向に傾け、施解錠カムの十字穴の黒塗側（上図参照）に通します。
  - 2-3. サムターンを縦にして座取付ネジで仮止めします。（左図参照）
  - 2-4. 扉を開けたまま、サムターン及びキーを回して、ハンドルが正しく固定・解除されることを確認してから、動きの良い所で座取付ネジを締付けてください。

**LSミニケース錠・8STチューブラ錠仕様の場合**

2. 座の取付方法
  - 2-1. キーが差込まれている場合は、縦向きにしてシリンダーからキーを抜いてください。  
キーを抜かないで取付けると正しく施解錠出来ない場合がありますので、キーは必ず抜いて取付作業を行ってください。（上図参照）
  - 2-2. 施解錠レバーを解錠状態で取付けてください。（右図参照）
  - 2-3. サムターンを縦にして座取付ネジで仮止めします。（左図参照）
  - 2-4. 扉を開けたまま、サムターン及びキーを回して、ハンドルが正しく固定・解除されることを確認してから、動きの良い所で座取付ネジを締付けてください。



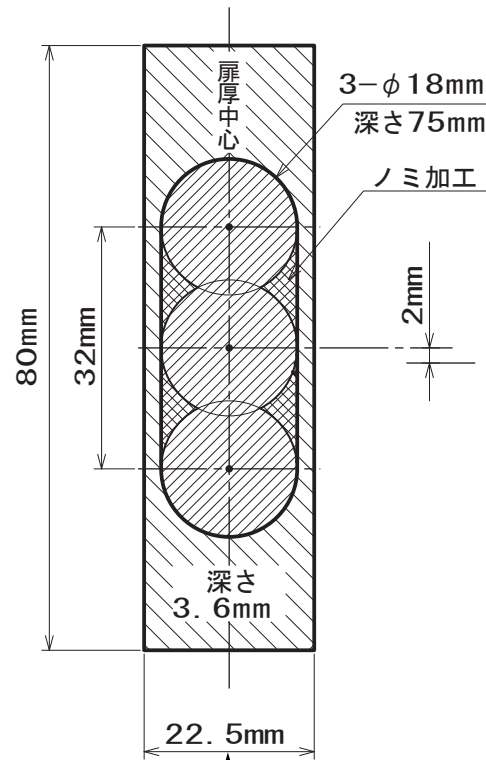
**注意** 取付完了後は必ず作動確認を行ない、正常な動きを確認してください。

# 取付型紙

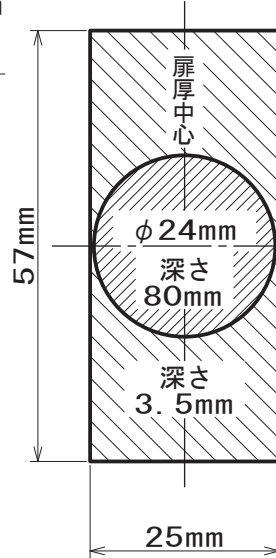
使用可能扉厚 28~40mm

## 注意

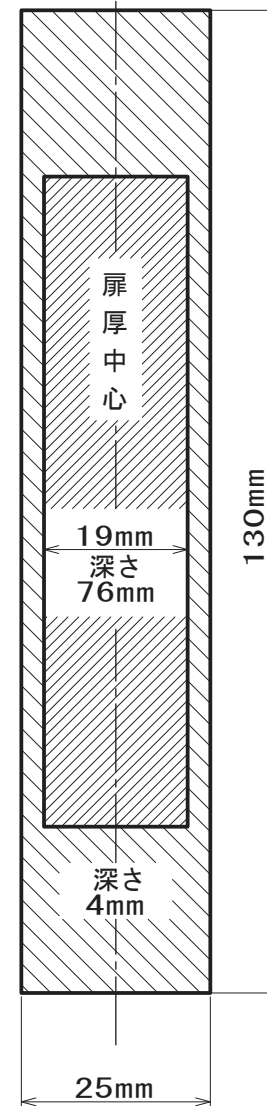
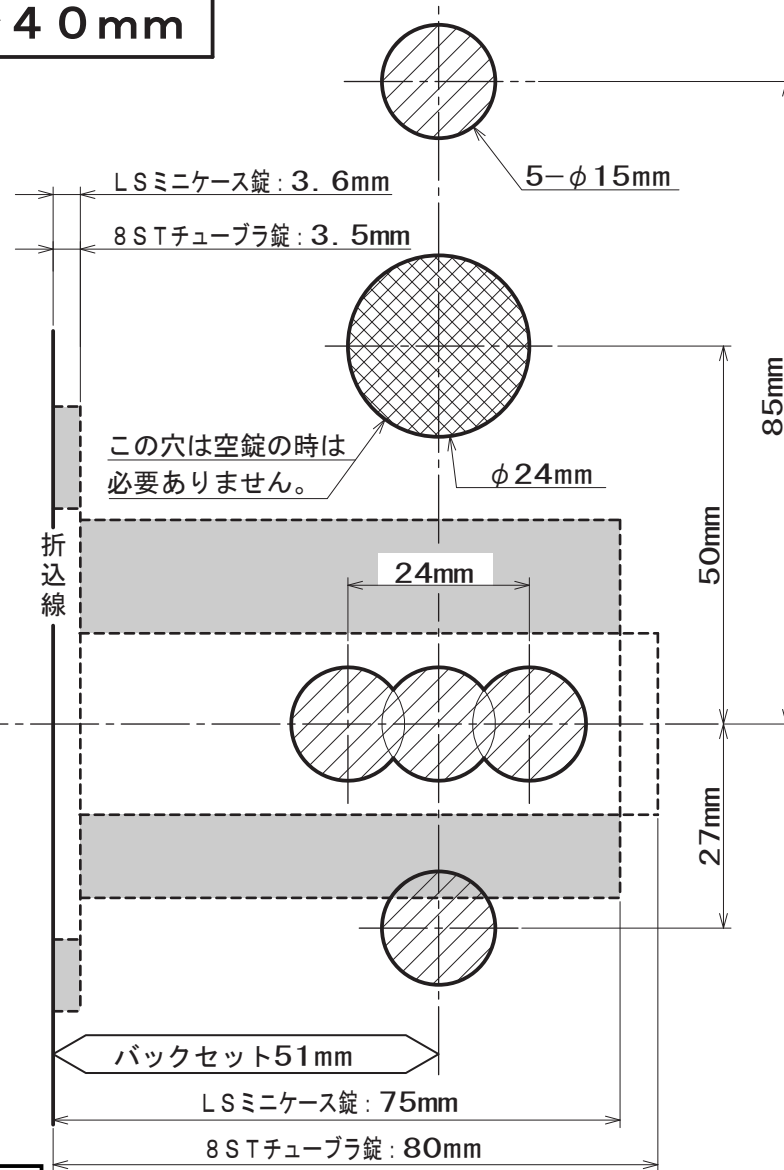
・錠本体の位置に合わせて扉表面の穴を加工して下さい。



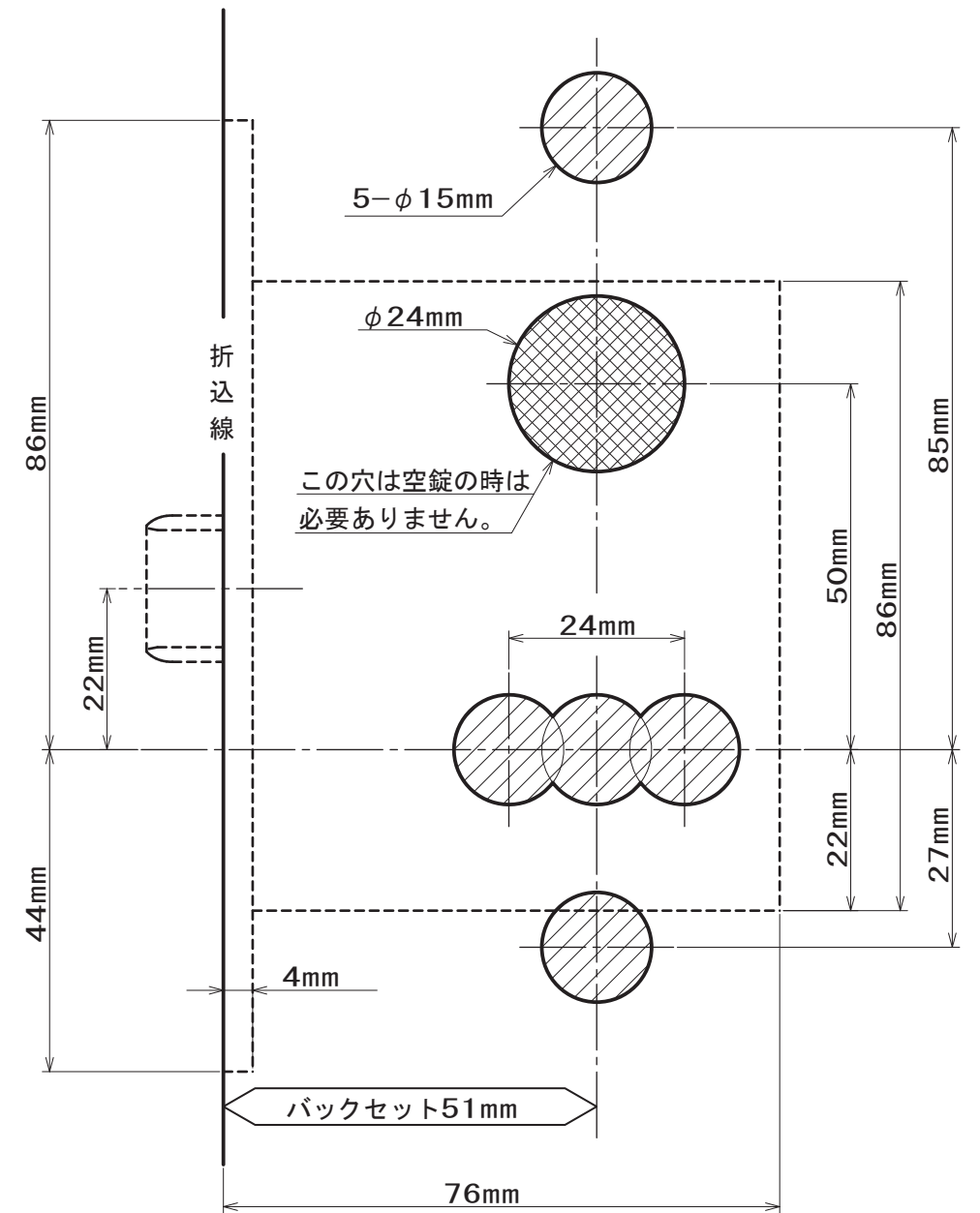
LSミニケース錠



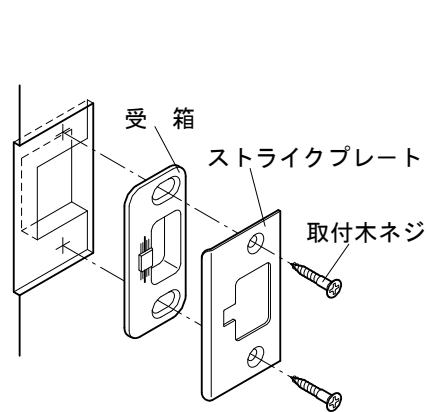
8STチューブラ錠



LV Sケース錠

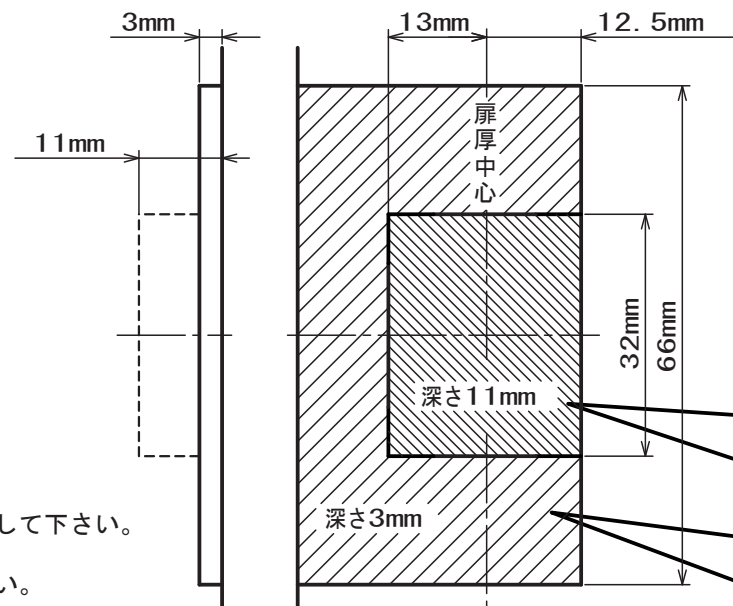


## 調整ストライク取付方法



## 取付方法

1. 右図の取付型紙を参考にして、枠に彫込みをして下さい。
2. 上図のように取り付け、仮止めして下さい。
3. 受箱をラッチボルトに合わせて動かして下さい。
4. 取付木ネジで固定して下さい。



取付型紙

## 注意

※受箱の入る穴は、図の通り加工して下さい。小さめに加工しますと、調整範囲が狭くなる事があります。

※この面が平滑でないと、木ネジで締めても受箱が固定できないことがありますので、ご注意下さい。

## 受箱の調整方法

